

# こども園交流

## 動機

こどもが好きということ。  
先輩方の発表を継続したいこと。

## 研究のテーマ

ものづくりの楽しさを伝える。  
共に学ぶ。

## 製作過程 活動内容

打ち合わせ4~5月

日義こども園1回目の交流 6月 2回目 9月

開田こども園1回目の交流 10月 2回目 11月

電子レンジ、オーブントースターの制作

## 日義こども園の交流

粘土でお皿づくりと自由作品体験。  
素焼きした自分の作品に好みの色で施釉。  
外遊びで交流した。

## 反省点

お皿の葉っぱの模様をもう少し濃く出せるように  
教えればよかった。

自由作品のドベの使い方（接着）をもう少し  
わかりやすく説明するべきだった。

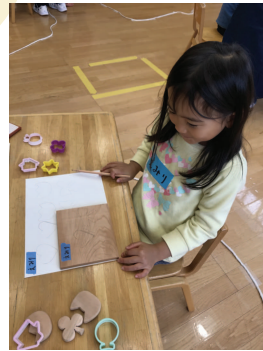
釉掛けを3秒で統一したが発色が弱い釉薬があったので  
5秒にすればよかった。

## 開田こども園の交流

電子レンジとオーブントースターへの取手取り付け。  
木のクッキーの型取り。  
室内で鬼ごっこをして交流。

## 反省点

園児の手がすごく汚れたので、  
使い捨ての手袋を用意すればよかった。



## 子供たちの作品



## まとめ

園児は体験を通してものづくりの楽しさを学べたと思う。私たちも陶芸の製作技法や釉薬の発色など多くを学ぶことができた。電子レンジ・オーブントースターを届けた際は大変喜んでもらった。

# 「こども園交流」

2022年度 長野県木曾青峰高等学校 インテリア科

田口結子 盛生歩 和木花穂

高島妙明 山田琉聖

## 1. 動機

- (1) こどもが好きということ。
- (2) 先輩方の発表を継続したいこと。

## 2. 研究のテーマ

- (1) ものづくりの楽しさを伝える。
- (2) 共に学ぶ。

## 3. 製作過程 活動内容

- (1) 打ち合わせ 4～5月
- (2) 日義こども園1回目の交流 6月

### ア) 内容

- ・粘土でお皿づくりと自由作品体験。

### イ) 工夫点

- ・園児がどうやって作ればいいのかを理解できるように説明ボードの作成。
- ・園児が17名と大人数なので2名の高校生に応援を頼んだ。

### ウ) 反省点

- ・お皿の葉っぱの模様をもう少し濃い模様が出るように教えればよかった。
- ・自由作品のドベの使い方(接着)をもう少し分かりやすい説明をするべきだった。



- (3) 日義こども園2回目の交流9月

### ア) 内容

- ・素焼きした自分の作品に好みの色で攪拌
- ・外遊びで交流。

### イ) 工夫点

- ・色見本を用意し園児の好みを活かした。
- ・色がしっかりできるように直接釉薬につけた。
- ・釉薬が沈殿しないように

### ウ) 反省点

- ・釉掛けを3秒で統一したが発色が弱い釉薬があったので5秒にすればよかった。



- (4) 開田こども園1回目の交流10月

### ア) 内容

- ・電子レンジとオーブントースターへの取手取り付け。
- ・木のクッキーの型取り。
- ・室内で鬼ごっこをして交流。

### イ) 工夫点

- ・木の板と型を用意し、園児のレベルの差に対応した。

### ウ) 反省点

- ・型取りから木のクッキーが出来るところを見せるよう、糸鋸の実演をすれば良かった。





(5) 開田こども園2回目の交流 11月

ア) 内容

- ・木のクッキーの着色。
- ・糸鋸、ハンドルーターの実演。
- ・屋外で鬼ごっこ、ままごとをして交流。

イ) 工夫点

- ・園児が自力で着色出来るよう、あまり手を出さずサポートした。

ウ) 反省点

- ・園児の手がすごく汚れたので使い捨ての手袋を用意すれば良かった。



4. 全体を通して

〈園児の反応〉

- ・陶芸も木工も熱心に取り組んでくれた。
- ・鬼ごっこでは全力で交流してくれた。
- ・4回の交流でいずれも楽しかったと感想を聞くことができた。
- ・高校生がこども園を出発する時は見えなくなるまで見送ってくれた。

〈感想〉

- ・園児に物づくりの楽しさを伝えるのと同時に自分たちの目的である思考を理解し、どのようにコミュニケーションをとればいいのかを学ぶことができたので良かった。
- ・グループ全員が初めての交流だったが、事前に準備をしていたことでスムーズに交流ができたし、園児も楽しんで交流が行えたと思うので良かった。
- ・陶芸では作品の製作方法や釉薬について多くを学ぶことが出来た。

(6) 電子レンジ、オーブントースターの製作

ア) 内容

- ・屋内遊戯室使用、屋外東室用2台製作

イ) 工夫点

- ・朴葉巻で馴染みの朴ノ木を使用。
- ・コーナーを面取り安全に配慮。
- ・脚部のゴムを使用し安全に配慮。
- ・屋内用は木の質感に触れる為白木塗装。
- ・屋外用は水分に触れるのでウレタン塗装。
- ・屋内用でも取手、文字盤などよく触る部分は消毒しやすいようウレタン塗装。
- ・照明を取り付け、リアル感を追求。

